

# 令和5年度 稲作情報 No. 3 十日町版

令和5年5月9日発行  
十日町地域農業振興協議会  
JA 十日町、JA 津南町、十日町市、津南町  
中魚沼 NOSAI センター、十日町農業普及指導センター

## 気象変動や生育状況に対応した柔軟な栽培管理の実践

水稻栽培に役立つ情報を LINE で簡単に受け取れます！

- 本年の生育・気象状況に応じた栽培管理
- 緊急情報(フェーン・異常高温等)
- 基本栽培技術
- 研修会の案内 等



QRコード読み取り  
→簡単に友だち登録

ID 検索: @219dutcb

十日町農業普及指導センター(水稻情報)

- 新潟気象台の「3か月予報」では、5～7月の気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込みです。
- 生育調節と収穫期の地耐力確保のため、適期中干しを開始し、溝切りも実施しましょう。

### 1 中干し・溝切り

#### (1) 中干し・溝切りの作業時期

	中干し開始	中干し終了
時期のめやす	田植 25 日後 目標穂数の 7～8 割の茎数	出穂期 1 か月前まで 田面の状況を見て判断
実施手順	落水 → <b>溝切り</b> →	→ 走り水・間断かん水

#### (2) 中干しの効果

- 無効茎(穂にならない茎)の発生抑制 → 茎質向上(太くて丈夫な茎を育成する)
- 下位節間の伸びを抑える → 倒伏防止、適期に穂肥ができる
- 受光態勢向上 → 登熟向上につながる
- 土壌への酸素供給 → 根の健全化、養分吸収増加
- 地耐力確保 → コンバインの作業性向上

表1 中干し実証ほの結果 (R4 十日町市新屋敷)

	中干し開始時期	稈長 cm	収量 kg/10a	整粒歩合 %	倒伏程度
R4	移植 27 日後	110	620	64	3～4
	移植 32 日後	117	606	57	4～5

注 稈長: 地際部から穂首までの長さ(長いほど倒伏しやすくなる)

注 倒伏程度: 0～5の6段階で評価

適期中干しで稈長が短くなり、倒伏程度が小さくなった！

収量・品質は同程度以上を確保！

#### (3) 中干し開始のめやす

○目標穂数の7～8割の茎数を確保したら、直ちに中干しを始めましょう(めやす:田植25日後)。

○茎数が少なくても、ガス抜きをかねて、遅くとも田植30日後には中干しを始めましょう。

※地力の高いほ場や田植後の高温等で茎数の急増が懸念される場合は、目標穂数の6～7割の茎数で中干しを開始しましょう。

※用水確保が困難なところでは、気象予報を確認して雨が降る数日前に水を落とし、軽く干すことで、根の健全化を図りましょう。

※大区画ほ場や排水不良ほ場では、排水に時間がかかり中干し効果の発現が遅れやすいため、めやすより早めに開始しましょう。

表2 中干し開始めやすの茎数（コシヒカリ）

目標 穂数 (本/m <sup>2</sup> )	中干し開始めやす			
	目標穂数に 対する割合	(本/m <sup>2</sup> )	(本/株)	
			50 株植	60 株植
350	7～8割	245～280	16～18	13～15
	6～7割※	210～245	13～16	11～13

※ 地力の高いほ場や田植後の高温等で茎数の急増が懸念される場合

中干し開始時期の稲姿  
(目標穂数に対する割合 76%)

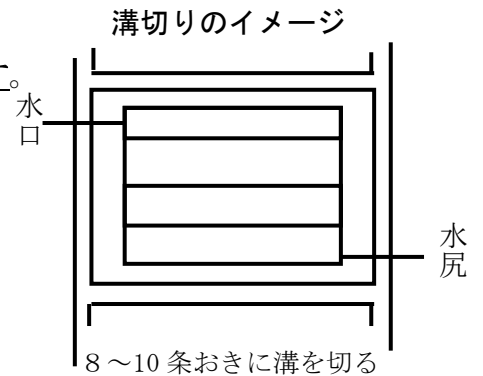


(4) 溝切り

- 落水して軽く地固めしてから、**8～10条おきに溝を切ります。**
- 溝の深さは10cm以上を確保しましょう。
- 溝と溝をつなぎ、**必ず水尻（排水口）に連結**させましょう。

**溝切りの効果**

- 干ばつ時に少ない水を有効利用
- フェーン等緊急時の速やかなかん水
- 秋の長雨による停滞水の容易な排水



(5) 中干し終了のめやす

- 田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度になったら終了**しましょう。
- ・強い中干しは、根を切ったり、新しい根の発生を遅らせます。



※畦ぎわには小ヒビが入っていても、ほ場の真ん中はまだ柔らかい場合があります。**ほ場の中に入って確認**しましょう。

- 出穂の1か月前までに中干しを終了**しましょう。
- ・中干しの終了が遅れると、根域が縮小し、高温年では品質が低下する場合があります。

強い中干しは幼穂形成期以降の葉色の低下を招き、**高温年に基部未熟粒を増加させる。**

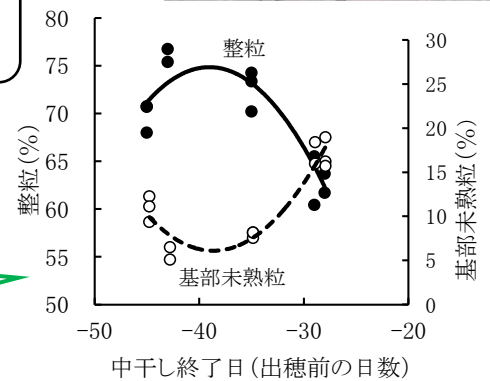


図1 中干し終了時期と基部未熟粒 (H22年、作物研究センター)

(5) 中干し終了後の水管理

- 間断かん水※**を行い、うわ根の発生を促進させましょう。
- 幼穂形成期以降は、**ほ場が湿った状態を維持（飽水管理※）**することで根の健全化を図りましょう。
- 高温下での長期間湛水は根腐れの発生につながるの、こまめな水管理を行いましょう。

- ※ **間断かん水**：湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す。
- ※ **飽水管理**：水尻は止水し、自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水がたまっている箇所が散見される状態になったらかん水する。



## 2 ケイ酸追肥

○可給態ケイ酸が基準値に満たない場合（ケイ酸施用による土づくりを実施していないほ場）は、出穂期 40 日前から 1 回目穂肥の時期に施用しましょう。

- ・出穂 40 日前から 1 回目穂肥の際にケイ酸を施用すると、品質向上が期待できます。
- ・特に高温年では、ケイ酸施用によって品質低下が軽減されます。

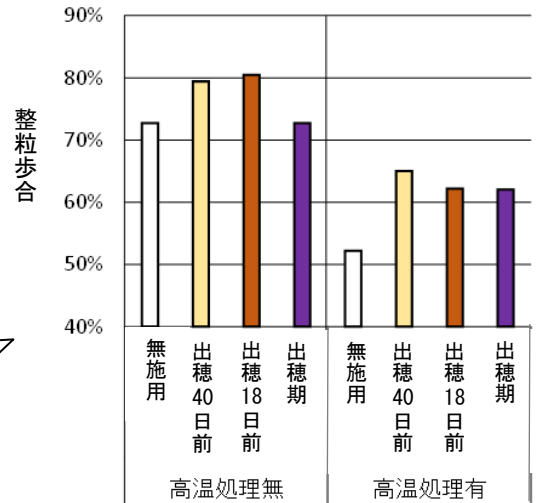


図2 ケイ酸追肥時期別の整粒歩合 (H26、27年 作物研究センター)

## 3 いもち病防除

- コシヒカリBL以外の品種で多肥栽培をすると、いもち病が発生しやすくなります。育苗箱施用剤や水面施用剤等を用いて、葉いもち及び穂いもち防除を必ず実施しましょう。
- 補植用の苗はいもち病の伝染源になるので、補植が終わったらすみやかに撤去しましょう。

## 4 雑草管理

- 令和3年産の十日町・津南産コシヒカリの斑点米による格落率は2.7%※と高くなりました（※JA農産物検査結果、令和3年12月末現在の主食用コシヒカリ）。
- 斑点米の発生防止には、カメムシ類の密度を低く抑えることが重要です。

○斑点米カメムシ類は出穂したイネ科雑草を好み、主に休耕田や農道、畦畔などで増殖します。

5月下旬から雑草が結実しない間隔（約3週間）で畦畔の草刈りを行いましょう。

- ・年間を通してイネ科雑草が出穂しないようにすることで、カメムシの密度を低く抑えることができます。
- ・薬剤散布前に畦畔雑草を短い状態にしておくことで、畦畔に生息するカメムシに薬剤がよくかかり、防除効果が高まります。

○斑点米カメムシ類は水田内の雑草（ヒエやホタルイ）でも増殖し、これらの雑草が繁茂すると斑点米が多発生しやすくなります。ほ場内の雑草除去もしっかり行いましょう。

主要種は  
アカスジカスミカメ  
(アカスジ)

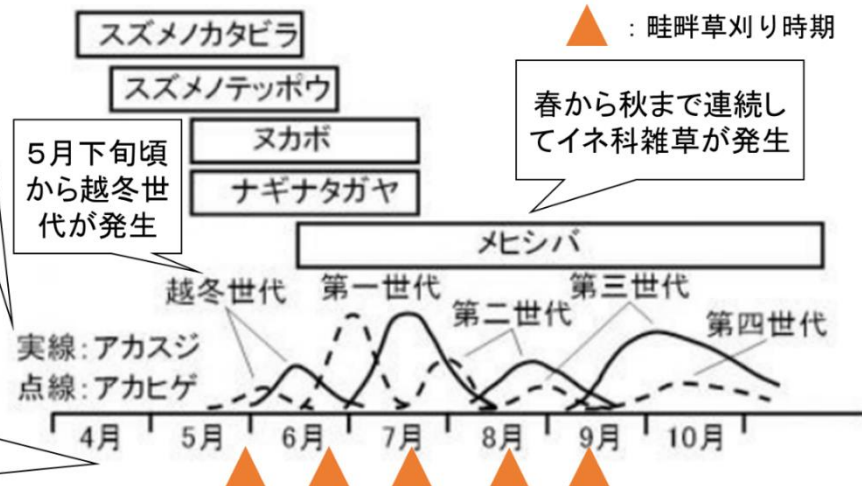


アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ(アカヒゲ)



3週間の間隔で  
草刈りを行うことで  
イネ科雑草が出穂  
しない

畦畔における主なイネ科雑草の出穂時期と  
カメムシ類の発生（平成29年 作物研究センター）



# おすすめ中間資材ラインナップ

## ○越後の輝き ソイル米スター



### 【特長】

- 1、けい酸を主とした土づくり肥料。  
中間追肥でも効果あり。
- 2、水田環境で溶出しやすいケイ酸を配合！
- 3、低価格・軽量で扱いやすい！

### 保証 (%)

りん酸	加里	アルカリ
1	7	23

けい酸	苦土
30	2

## ○スーパーシリカプレミアム



### 【特長】

- 1、粒状で施肥量の少ない省力型けい酸質肥料。
- 2、水田環境に近いPH 5.5～6.0 で溶出する高溶出けい酸を含有しており、少量でも高いけい酸の効果が期待できる。
- 3、安価であるが、けい酸値が高い。

### 保証 (%)

けい酸	アルカリ	苦土
30	40	2

### その他含有 (%)

りん酸	マンガン	鉄
2.7	0.06	0.4

## ○けい酸加里プレミア34



### 【特長】

- 1、けい酸＋く溶性加里が多く、倒伏軽減以外にも、収量・品質向上や稲体を丈夫にする効果が高い。
- 2、クーラー効果(稲の温度を下げる効果)があり、高温による白未熟粒発生を抑制する。
- 3、保証成分値も高く、効果も高い。

### 保証 (%)

く溶性加里	けい酸	苦土	ほう素
30	40	4	0.1

※ 施用量 20kg～40kg/10a